

注 意 事 項

1 競技場への入退場について

- (1) リレー競技登録者（登録者6名＋プログラム記載のリレー出場者2名）、棒高跳出場者は競技開始2時間30分前以降、その他の種目出場者は競技開始の2時間前以降とする。
- (2) 保護者及び一般市民の入場を禁止する。
- (3) 競技場への出入り口は100mスタート後方入り口のみとする。
- (4) 選手は体調管理チェックシートとアスリートビブス（ゼッケン）を提示して入場すること。この際、体調管理チェックシートに検印する。
- (5) マネージャー（競技場入場者一覧表に記載の者）は各校午前午後それぞれ2名までで、半日参加を厳守し、競技開始2時間前から入場できるものとする。ただし、4×100mR競技に出場する学校のマネージャーは競技開始2時間30分前から入場を認める。半日の切り替えは12時30分を基準時刻とする。事前にGoogleFormsにて入場者の申請をすること。（東三河陸上競技協会HPを参照）入場の際は体調管理チェックシートを提示し、名簿でのチェックを受けること。
- (6) 入場を許可された者の一時退場・再入場は100mスタート後方入り口のみとする。
- (7) 競技終了後は速やかに帰宅すること。

2 受付について

- (1) 各校引率教員は、競技場入場時に受付をすること。（教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない）。

3 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

4 招集について

- (1) 招集所は設置しない。
- (2) 各校顧問は、学校受付終了後に欠場者を記録室に報告すること。これをコールの代わりとする。
- (3) 最終コールは、トラック競技は各スタート地点付近で、フィールド競技は各ピットにて行う。トラック競技は競技開始5分前、フィールド競技は競技開始30分前を原則とする。
- (4) 1年生大会における予選実施競技の決勝一次コールは腰ナンバーカードを100mスタート後方出入り口付近で受け取ることで代替とする。**（受け取り時間は決勝競技開始40分前～20分前とする）**（7(3)を参照）ただし、決勝のみ（予選が実施されない）の競技、タイムレース決勝の競技については、各自で作成すること。

5 リレー競技のオーダー用紙提出について

- (1) リレー競技のオーダー用紙は受付時に顧問に渡す。
- (2) 4×100mR、4×400mRともに、競技開始30分前までに記録室へ提出すること。

	男子	女子
4×100mR	9 : 10	9 : 00
4×400mR	15 : 30	15 : 20

- (3) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

6 アスリートビブス（ゼッケン）について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

7 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは各自で作成し、持参すること。大きさは縦 12cm×横 18cm とする。事前にレーンを確認の上、黒のマジックでレーン番号を記入（太くはっきりと）しておくこと。（1年生大会における予選実施競技の決勝レースは競技場のものを使用する）
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。
- (3) 1年生大会における予選実施競技の決勝進出者については、番組編成確定後（東三河陸協 HP の記録速報で確認）に100mスタート後方出入りに腰ナンバーカードを受け取りにくること。（受け取り時間は決勝競技開始 40 分前～20 分前とする）
なお、競技終了後は直ちに 100m ゴール付近で返却をすること。

8 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	競技開始前
検査場所	各ピット

9 競技について

- (1) WA 規則第 143 条（TR5：シューズ）のルールを順守すること。また、令和 3 年 4 月 14 日付の日本陸連発出の文書「陸連 21 発第 5-2 号」に基づき、本大会は、フィールド競技用シューズの TR5.5 を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。フィールド種目については WA への申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。
- (2) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは 9mm 以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下のものを使用すること。
- (3) 選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。撮影については 15 項を参照のこと。
- (4) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (5) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (6) 800m の 9～12 人目については、7、8、2、1 レーンの順に入る。
- (7) 長距離競技の給水は主催者が用意する。
- (8) フィールド競技は、すべて計測する。
- (9) 投擲競技で滑り止め（炭酸マグネシウム）を使用する場合は、各自で用意すること。
- (10) 棒高跳については、天候不良の（予想される）場合、競技時刻を変更することもある。
- (11) 1年生男子走幅跳は 2 ピットで行う。ジュニア三段跳の踏切板は男子 10m、女子 9m と

する。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

<バーの上げ方>

- (男子) 走高跳 練習 (1m55 1m80)
1m60、1m65、1m70、1m75、
1m80、1m85、1m88・・・・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (2m60 3m60 4m00)
2m80、3m00、3m20、3m40、
3m60、3m70・・・・・・(以降10cmずつ)
- (女子) 走高跳 練習 (1m25 1m45)
1m30、1m35、1m40、1m45、
1m50、1m55、1m58・・・・・・(以降3cmずつ)
棒高跳 練習 (1m60、2m00)
1m80、2m00、2m20、2m30・・(以降10cmずつ)

(12) 記録の掲示は行わない。記録速報を東三河陸上競技協会のHPにアップする。

10 表彰および県大会への出場権について

- (1) 1年生大会の各種目については各競技3位までの入賞者は賞状を授与する。リレー競技については1位のみ賞状を授与する。
(2) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。

11 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。(感染予防対策のため、各自出したごみは各自で責任を持つこと。)

12 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技会開始時刻の20分前までとする。
(2) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

13 応援の禁止について

- (1) 集団応援は禁止とする。個別での応援(声かけ)もなるべく避けること。
(2) カラーコーンなどで規制されたエリアには立ち入らないこと。

14 各校のベンチについて

- (1) 各校ベンチにおいても必ずマスクなどを着用し、3密を避ける行動を心がけること。主催者の注意に従わない場合は退場させることもある。また、熱中症に十分に気を付けること。

15 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に係る団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

<観客席からの撮影制限>

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
◆各種目のスタート後方
◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
◆走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。